校報

國學院大學
栃木中学高等学校
〒328－8588
栃木市平井町608
☎(0282)㉒5511
校報編集委員会

〈8・9月の行事予定〉

17日　始業式(中・高)
17～22日　補填授業(中・高)
18日　全統模試(高１・２)
23日　come on in 国学院(中・高)
24～26日　補填授業(中・高)
27日　歯科検診(高３)
28～29日　第２回学力推移調査(中)
31日～1日　第２回校内模試(高３)
２日　スタディサポート(高１・２)
５日　文化部発表会(中・高)
８日　第１回國大模試(高３)
10日　検尿(高)
12日　第１回ベネッセ駿台共通テスト(高)
15日　内科検診①(高１)
17日　内科検診②(高１)
24日　内科検診①(高２)
26日　小論文講演会(高３)
28日　教育実習開始(中・高)
29日　第2回國大模試(高３)
　　　内科検診②(高２)
30日　第2回進路希望調査

教育改革を迎えて

進路指導部長
後藤史彦

心と生活 学力のバランスを

新型コロナウイルス感染拡大により、新学年を臨時休業状態で迎え、学校再開から約2ヶ月を経て1学期が今終わろうとしている。終息が見えない中、大雨による被害も発生し、医療関係や、各々の立場で社会の維持に努めた人々の努力に感謝しつつ、当たり前であった日常の大切さを痛感している。もちろん、今後も予断を許さない状況ではあるが、我々もまた、「これから」に向けて力強く、たくましく歩んでいかなければならない。そのためには、心と生活と学力のバランスが大切である。受験というとつい学力に目が向いてしまうが、本番で強さを発揮し、結果を出すためには、心と生活の安定が欠かせない。学校再開後の2ヶ月間、この点はどうであったろうか。

1学期を振り返って、生活、人間関係、学習の遅れ等、不安や焦りを感じている人も多いであろう。しかし、全国の高校が3月～5月までの間に休業しており、皆同じ状況にあったのである。自分にとっての学校や学習の意義といった足下を見つめ直し、今回の事態で浮き彫りになった社会的課題から社会のあり方、その一員としてできることを考えれば、進路を見つける機会にもなったのではなかろうか。そして、今後も目標に向かって「自分がしなければならないこと」を判断し、「今できること」に集中することが大切である。

入試改革を考える

今年度は大学入試改革の初年度に当たり、混乱しながらも入試は様々な点で変更になる。この変化に対応する上では、まず情報を入手しなければならない。実際に足を運ぶ機会の多くが失われたとしても、オンラインでのオープンキャンパスや説明会にも参加し、予備校や報道等にも気を配ろう。さらに、最も大切なのが担任との意思の疎通である。志望先を決めてからではなく、早めに学習・進路に関する意思や要望、悩みを相談すれば、学校として対応するので、ひとりで抱え込まず声を上げてほしい。

それでは、現時点(七月上旬)で明らかになっている範囲の中で、入試改革に伴う注意点を記しておこう。まず、旧AO入試が総合型選抜入試に、旧指定校・公募制・系列校推薦などの推薦入試が学校推薦型選抜入試に名称を変えた。出願時には評定や資格面での条件が厳しくなり、志望理由書、活動報告書等の提出が求められる。また、合否の判定には学力の担保となるもの(資格、試験、小論文、面接、プレゼンテーション等)が課せられる。さらに日程上、原則として総合型と学校推薦型から併せて1回しか出願できないケースが増えるであろう。言い辛いことではあるが、万が一にも不合格だった場合を想定し、一般入試に向けた不断の学習努力が欠かせない。

清々しく花を咲かす朝顔

次に一般入試について、今年度は総合型や学校推薦型で進路先を確保したいという気運が高まっている上、浪人生も少ないことから一般入試の受験者は減少が予想されている。さらに初年度である大学入学共通テストを敬遠する傾向も見られる。「初めて」は誰の胸にも不安を呼び起こす。しかし、この入試改革は「初めて」を試みているのではない。暗記に偏重していたテスト対策学習から、「学び」本来の姿に立ち返ろうとしているだけなのである。

「学び」とは 探究すること

「学び」とは、基本的な知識、技能を学びつつ感じる疑問を出発点とし、その意義を考察する中で発見した課題を探究して、自らの意見、成果を発表するという、人生の中で必須かつ繰り返される行為である。まさに、生徒諸君が進路を模索することも重要な「学び」なのである。その過程では、他者と意見を交換し協働しながら社会性、思考力、判断力、表現力を身につけて成長していく。本校では、小テストを繰り返して基本的な知識の習得を確認し、授業ではアクティブ・ラーニングを取り入れて探究に発展させ、さらに課題レポートや小論文指導の中で、これらの能力を培っている。また、全員が探究学習発表会や種々のセミナーに参加し進路目標を探究してきた。受験はその目標を実現させる舞台である。自分の将来や人生に関わる課題に対し、一時の不安感に負けず、目標を高いところに持って挑戦していけば、皆が敬遠することが逆に好機となって、追い風が吹くことになるであろう。基本を大切にしながら本校での学習を続け、国公立大は後期日程まで粘り強く、私大はできるだけ多く受験してチャンスを広げよう。

また、総合型、学校推薦型、一般入試の全ての入試方法において、検定、資格の重要性が増す中、現在のような状況下では1・2年生も早めに資格を取得することが必要である。英検、GTEC、漢検、数検の取得を学校全体で積極的に取り組んでいくので、一つでも多くの、上位の資格取得を目指すという自覚を持ってほしい。最後に、これからの社会を担っていく生徒諸君が、この厄災を機に、不測の事態に対応し、未来を切り開く成長を見せてくれることを願っている。

全校朝礼　学校長講話
今できることを考えよう

7月22日(水)、放送にて全校朝礼が行われた。コロナおよび九州豪雨の犠牲者へ一分間の黙祷が捧げられた後、青木一男学校長による講話があった。

「授業が再開して約2ヶ月、引き続き全国では感染拡大への不安を募らせている中、みなさんにはたくましい心で楽しい生活を送ってほしいと願っています。私は最近二人の若い政治家の姿に心を打たれました。一人は北海道知事の鈴木直道氏、もう一人は徳島市長の内藤佐和子氏です。鈴木氏は北海道夕張市の財政再建事業に携わり、地方と中央のパイプ役という難役を務めあげ、30代後半で北海道知事に当選しました。内藤氏は当初弁護士を目指していましたが難病にかかって転身し、地元である徳島の振興に新たな夢を見出して努力した結果、最年少の女性市長に当選しました。お二人は、あふれる情熱をもって逆境に立ち向かい、それぞれの人生の道を切り拓きました。今、私たちはコロナ禍の不安の中で生活していますが、皆さんにも彼らのように逆境に向き合ってほしいと思います。そして、新たな生活様式による毎日の中で自分の在り方を見つめて、自分の道を見つけ出してください」。

生徒総会

朝礼に引き続いて令和2年度の生徒総会が、生徒会主催で執り行われた。総会では、國學院祭の中止によりこの秋に代替として実施される文化部発表会についての概要が発表された。

實島範朗教諭
日本高野連「育成功労賞」受賞

春のセンバツ出場を決め、取材を受ける實島教諭
（平成９年）

6月下旬、實島範朗教諭が日本高等学校野球連盟から贈られる「育成功労賞」に選ばれた。「育成功労賞」は20年以上に渡って高校野球の育成と発展に貢献した指導者に対して、日本高等学校野球連盟から贈られる賞である。

實島教諭は昭和59年から26年間野球部の顧問を務め、その間春夏合わせて4回の甲子園出場を果たした。實島教諭は今回の受賞にあたって以下のように思いを語った。

◇　◇　◇

「目標は甲子園、目的は人格形成」をモットーに監督として指導をしてきました。足を絡めた機動力野球で戦った甲子園での胸の高まりは、今でも鮮明に覚えています。結果以上に、目標に向けて努力することの尊さを部員に伝えてきました。國學院栃木での野球を通して成長した教え子たちが、人生の甲子園を勝ち抜くことを祈ります。監督としての26年間は私の宝物です。今日に至るまで支えてくださった全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

高校一年　情報モラル講演会
スマホを正しく使おう

講師　鈴木氏
（ＮＴＴドコモ）

6月24日(水)、四十周年記念館において「スマホ携帯安全教室」の演題で、1学年全員を対象に情報モラル講演会が行われた。講師にNTTドコモ鈴木利絵氏を招いて、通信機器を安全に使いこなすためのルールを学んだ。当日は1学年全員が登校再開後はじめて一堂に会する集まりとあって、新型コロナ対策として、会場の換気や、座席に間隔を開けて着座するなどの配慮を慎重に行った。

講演では、スマホを安全に用いるためにはどのような配慮が必要か、また他人に迷惑がかかる行為についての話が具体的な動画を交えてなされ、生徒は真剣に耳を傾けていた。

マナーを積極的に学ぶ生徒

～同窓会より～
大型テレビ42台寄贈

創立60周年を記念し、本校の卒業生からなる同窓会より6月に大型モニターテレビが各クラスに1台ずつ寄贈された。

昨年度の卒業式、今年度の入学式は各教室での放送にて実施された。両方の式に参列された長谷川同窓会長が式の様子をテレビ中継のように出来れば、放送よりも生徒に式の様子がより伝わるのではないかと感じたという。後輩となる生徒たちのために母校の環境を整えたいという思いと、今年度で創立60周年を迎えるというタイミングも重なり、寄贈されるに至った。

今回の寄贈により、本校でのICT教育がより一層充実したものになることが期待される。既に各教科の授業で実際に使われたり、学年集会がテレビモニターを利用して実施されるなど、活用されている。

授業に生かす（Ｓ２の１）

第3学年校内模擬試験 成績上位者一覧

令和2年6月11日(木)～12日(金)実施

◆数理英3教科総合
1 三上 侑香（S1）
2 菊地 陸（N1）
3 紺野 真由（S1）
4 菊池 脩斗（S1）
5 岩下 桜介（S1）
6 神田 直紀（S1）
7 坂元 大樹（S1）
8 村山陽 那乃（S1）
9 遠藤 琢未（S1）
10 澁谷 宗平（S1）
11 室井 大樹（S1）
12 石川 陽菜（S1）
13 山田 凜（S1）
14 長谷川 佳紀（T1）
15 中村 彩花（N1）
16 大塚 寛太（S1）
17 小林 未来（N1）
18 宍戸承 太郎（S1）
18 田中 杏奈（T1）
20 園部 美裕（S1）

◆国英地歴3教科総合
1 癸生川 智大（S2）
2 長岡 優太（S2）
3 菅原 毅彦（N1）
4 藤井優 太郎（S2）
5 田島 翔子（S2）
5 戸ヶ﨑 結優（S2）
7 吉原龍 之介（S2）
8 星野 弘熙（B1）
9 山根 拓也（N1）
10 宮田 美岬（A3）
10 青木 慎介（S2）
12 菊地 陽基（S2）
13 山口 美空（S2）
14 古山 裕崇（S2）
14 水越 暖人（S2）
16 佐藤 珠冬（G1）
17 大巴 德遵（S2）
17 有井 柊斗（T2）
19 森蔭 樹杏（A2）
20 石川 慶典（T2）

◆英語
1 菊地 陸（N1）
2 三上 侑香（S1）
3 佐藤 珠冬（G1）
3 紺野 真由（S1）
3 長岡 優太（S2）
6 菅原 毅彦（N1）
7 中村 彩花（N1）
7 癸生川 智大（S2）
9 五月女 友亮（N1）
9 菊池 脩斗（S1）

◆数学①
1 菊地 陸（N1）
2 菊池 脩斗（S1）
2 長岡 優太（S2）
4 三上 侑香（S1）
5 癸生川 智大（S2）
6 紺野 真由（S1）
7 岩下 桜介（S1）
7 石川 陽菜（S1）
9 室井 大樹（S1）
9 益子 紋寧（S1）

◆数学②
1 三上 侑香（S1）
2 癸生川 智大（S2）
3 長岡 優太（S2）
4 菊地 陸（N1）
4 長谷川 佳紀（T1）

◆国語
1 三上 侑香（S1）
2 菊地 陸（N1）
3 菅原 毅彦（N1）
4 癸生川 智大（S2）
5 中村 彩花（N1）
6 木下 愛（S2）
7 神田 直紀（S1）
7 長岡 優太（S2）
9 藤井優 太郎（S2）
10 川又 菜摘（S1）
10 紺野 真由（S1）

◆物理
1 菊地 陸（N1）
1 岩下 桜介（S1）
1 菊池 脩斗（S1）
1 三上 侑香（S1）
5 神田 直紀（S1）
6 澁谷 宗平（S1）
7 上野晋 太郎（A1）
8 中村 健太（T1）
9 坂元 大樹（S1）
10 小林 未来（N1）
10 遠藤 琢未（S1）

◆化学
1 紺野 真由（S1）
1 三上 侑香（S1）
3 坂元 大樹（S1）
4 菊地 陸（N1）
5 遠藤 琢未（S1）
6 澁谷 宗平（S1）
7 大塚 寛太（S1）
7 石川 陽菜（S1）
9 神田 直紀（S1）
9 室井 大樹（S1）

◆生物
1 宍戸承 太郎（S1）
2 紺野 真由（S1）
3 稲木 葵（B1）
4 熊倉 由樹（N1）
4 狐塚 胡桃（S1）
6 中村 彩花（N1）
6 柳原 里桜（S1）
8 柏 遥輝（S1）
8 能見 怜至（S1）
10 新美 綾音（B1）

◆日本史
1 癸生川 智大（S2）
2 長岡 優太（S2）
2 吉原龍 之介（S2）
4 宮田 美岬（A3）
5 古山 裕崇（S2）
6 大巴 德遵（S2）
7 藤井優 太郎（S2）
8 岡田大 治郎（A3）
8 山根 拓也（N1）
8 有井 柊斗（T2）

◆世界史
1 山田宗 太郎（A2）
1 星野 弘熙（B1）
3 三浦 豪太（B1）
4 江口 恵人（B1）
5 滝戸 康太（B1）
5 野村 美緒（B3）
7 戸ヶ﨑 結優（S2）
8 西田 啓将（A2）
8 染田 和輝（B1）
8 山口 美空（S2）

●各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
グローバルコース	G
文理コース	B

本気の夏

夏休みを迎えるにあたり、第3学年の学年主任を代表してお二人の先生からメッセージをいただいた。

村山優一 学年主任

様々な行事や目標にしていた大会が行われず完全燃焼できなかったと感じている人や、休校などで学習のペースが掴めなかったという人もいるだろう。さらに、大学入試改革の情報が二転三転しながら進み、それに対応していくことが求められている。このような状況の中、努力してきたことを土台に必要な学力を身につけ、来たる時にその力を発揮するためにはどうしたらよいか。

まずは焦らず、この夏に勝負科目の基礎力を磨くことである。入試が変化しても、どの難易度の問題を解くにしても、第一に基礎力を身につけることが必要である。持っている参考書や問題集を何度も繰り返し、各分野の重要事項について、すぐに答えられ応用できるようにしよう。夏にどれだけ基礎力を高められるかが、入試を左右すると言っても過言ではない。難関大に合格する人ほど基礎力を重視し、しっかりと固めてから応用問題に取り組む様子が見られる。

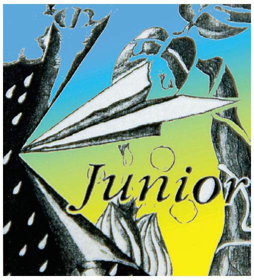
これからはさらに受験が近づき不安な気持ちになるかも知れない。確かに、もう無駄に過ごす時間はない。しかし、ゆっくりでも着実に積み上げていけば必ず間に合うと、自分を信じて学習を進めよう。仲間や、先生方も力になってくれるはずである。例年になく大変な今年の入試を乗り越えられれば、今後自分を支える大きな自信となるだろう。3年生の本気に期待をしている。

實島範朗 学年主任

君たち3年生にとってこの夏はまさに集大成と言える「勝負の夏」になるはずであった。しかし、新型コロナウイルスの影響で大会が中止になり、それぞれが絶望感の中にいたことと思う。そんな目標を見失ってもおかしくない状況において、進路実現という新しい目標に向け行動を始めた皆の姿勢は、大変立派なものであった。

私が野球部の監督時代、選手たちに常に「数は力なり」と伝えてきた。例えばバットスイングにしても1日１０００回以上を必ず行うと決め、次の大会まで毎日積み重ねていく。試合までに数万回を行うことになる。そこまでしてはじめて「やるべき事はやってきた」と緊張することなく堂々と打席に立てるのである。私は改めて君たちにこの「数は力なり」という言葉を激励のメッセージとして贈る。

効率よく物事を行うことは大切である。しかし時には遠回りと思える程に時間をかける事も重要である。じっくり時間をかけ「量」をこなしていく中で、必ず「量」が「質」に転化していく。そうやって力を付ける上でこの夏は非常に良いチャンスである。過去には部活動を引退してから練習と勉強時間を上手に入れかえ、模試で１００番以上順位を上げて進路を勝ち取った部員もいた。自分の能力の限界を決めず、可能性を信じて数をこなそう。進路に向けた「勝負の夏」を全員で戦おう。君たちなら必ずできると信じている。



令和２年度
一歩ずつ前進、未来(さき)を見据えて

学校再開から約２ヶ月、あっという間に１学期が終わる。今年の夏休みは、未だに収束の見えない新型コロナウイルスへの警戒を忘れず、「コロナ対策」の、これまでと違った生活様式が求められる。その中でも、限りある時間を大切にし、大きな経験や学習の手応えをつかむことのできる有意義な毎日を過ごしてもらいたい。

生徒総会 開催される

６月19日(金)、中学校では生徒総会が開催された。今回は密集を避けるため、中学校校舎ではなく、四十周年記念館を会場とした。本来であれば、新学期が始まって早い段階で開催されるものであるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大による影響で学校が４月より二ヶ月間の長期休校となった。５月末に緊急事態宣言が解除されたことにより６月から学校が再開され、ようやく開催できた。

生徒総会開始

生徒会本部役員たちは、自分で作ったパワーポイントを使って総会を進行するなど、様々なアイディアを具現化し、会をよりよいものにしていった。

生徒会長の挨拶

会の後半では部活動紹介が行われた。部活動は学校生活の魅力の一つであり、これを楽しみに入学をしてくる生徒もいる。１年生たちは興味津々で各部活動の発表を見ていた。

部活動紹介

上級生たちは、新入生に自分たちの部の楽しさを伝えようと、さまざまに趣向を凝らして、一所懸命取り組んでおり、盛会のうちに総会は終了した。

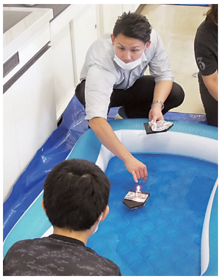
パワーポイントを使った発表

サイエンスセミナー

７月11日(土)、サイエンスセミナーが実施された。今回は「地球にある色素を使って、絵の具をつくろう」「ポンポン船をつくろう」「食品を化学しよう」「岩石から化石を見つけよう」の４講座が開講された。

理科の実験に参加できることが本イベントの最大の魅力であり、例年多くの児童や保護者が参加する。各講座にはそれぞれ面白さがあり、参加した人たちは非常に楽しそうであった。

本校は理科系の指導も充実しており、様々な実験施設などを公開することも本校の魅力を紹介することにつながったと言える。


船が走る！

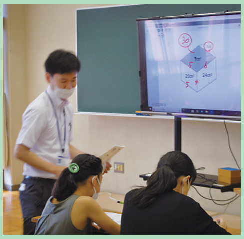
できあがった絵の具

食品を化学しよう

一日体験学習会

６月13日(土)と27日(土)に中学校では一日体験学習会が開催された。この行事は本校の魅力を受験生や保護者に知ってもらうためのもので、毎年多くの参加者が訪れる行事である。今年も国語・英語・数学・社会の各教科において講座が開催され、各教科の特色を生かした楽しい内容のものとなった。

参加した小学生たちは新しく知ったことに驚きの表情を浮かべ、また英会話などの体験型の講座では講師と一緒に動くことで、楽しい時間を過ごすことができたようであった。


算数講座

英会話講座

情報モラル講演会

講師の松野真弓さん(ＮＴＴドコモ)

６月26日(金)、情報モラル講演会が開催された。スマートフォンや携帯電話の利用者数増加や利用者層の低年齢化により、昨今は様々なトラブルが発生しており、中学生にとっても他人事とは言いがたい状況となってきているため、毎年この講演会が実施されている。

今回も外部講師の方をお招きして話を伺ったが、内容としては中学生にとっても身近なトラブルが多く紹介されるものであり、生徒たちは真剣なまなざしで話を聞いていた。

最後に講師の方から「ルールを守れない人は携帯電話やスマートフォンを持つ資格がありません」という言葉を聞き、生徒たちはルールを守ってスマートフォンや携帯電話を使うことの大切さを知ることとなった。

情報モラル講演会

講演を聞く生徒たち

手紙の書き方講座

７月10日(金)に手紙の書き方講座が実施された。例年、郵便局の方をお招きして実施されていたこの講座であったが、本年は新型コロナウイルスの感染予防ということもあり、外部の方を招いての講座は行わず、本校国語科の津田教諭と坂本一成教諭が講師として手紙の書き方をレクチャーした。また、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から、今年度は５限に１年生が図書館大会議室で、２年生が６限に教室で講座を実施した。

インターネットが発達した現代社会において葉書というツールを使う機会は限られており、生徒たちも普段葉書を出すことはあまりないようだった。

まずは、住所の書き方や宛先の書き方を学び、次に送る相手のことを思い浮かべながら、相手に喜んでもらえるような文面と絵を一所懸命に考えていた。

当初は慣れない作業に戸惑っていた生徒たちであったが、実際に書いてみると電子メールにはない面白さがあることに気がつき、趣向を凝らし、各々の個性が発揮された色とりどりの暑中見舞いが完成した。生徒たちはできあがった葉書を担当教員に提出、相手に暑中見舞いが届くことを楽しみにしており、しきりに「いつぐらいに葉書は届きますか」などと聞いていた。

個性豊かな暑中見舞いが届くのは八月上旬頃となる。その葉書を受け取った方は笑顔を浮かべながらきっと読んでくださることだろう。

図書館大会議室で講習を受ける

真剣に葉書を書く１年生

教室で葉書を書く２年生

夏休みの注意
中学校

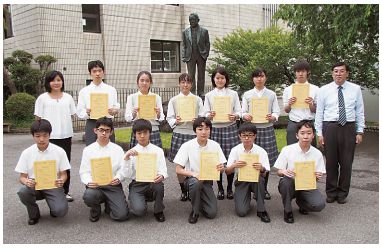
まもなく夏休みが始まります。今年度は補填授業の関係などもあり例年に比べて休みの期間は短いですが、それでも気をつけて生活をしないとトラブルに巻き込まれてしまう危険性があります。以下に生活の注意を記載しますので、しっかりと読んで夏休みに臨むようにしてください。

・携帯電話・スマートフォン・ＳＮＳの使い方には注意しましょう。犯罪に巻き込まれる危険があります。また、悪用すると他人の人権を侵害するなど深刻な被害を与えてしまいます。これは絶対に許されないことです。
・交通ルールを守り、特に自転車は、運転マナーを遵守し、事故に十分気を付けること。自身が加害者にならないように注意することも大切です。
・外出は家族の許可を必ず得ること。その上で、社会のルールとマナーをしっかりと守り、行動しましょう。
・部活等で登校する場合は　必ず制服を着用しましょう。
・事故などのあった時は必ず担任もしくは学校に連絡してください。
・旅行は必ず許可を得てください。
・新型コロナウイルス感染症に対して万全の備えをしましょう。手洗い・うがいをしっかりし、人が密集している場所は避けるようにしましょう。

教務日誌抄

〈７月〉
１日(水)美化の日
２日(木)代表委員会
７日(火)
　第１回学力推移調査
10日(金)手紙の書き方講座
11日(土)
　サイエンスセミナー
13日(月)～15日(水)
　１・２年生期末試験
13日(月)～16日(木)
　３年生期末試験
30日(木)歯科検診
　成績判定会議
〈８月〉
１日(土)・２日(日)
　カム・オン・イン國學院
　②③
４日(火)～６日(木)
　三者面談
７日(金)終業式

部活動の活躍 ～天文部～



表彰を受けた天文部

令和２年５月23日（土）～31日（日）第６回日本気象学会ジュニアセッション２０２０に天文部がＷＥＢ参加し、提出した３点の発表で表彰を受けた。

このセッションは、気象や大気に関する調査研究の成果を専門家に発表し、その後意見交換することで、さらに調査・研究を生徒たちが深めていくことを主な目的としたものである。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ＷＥＢ開催となった。

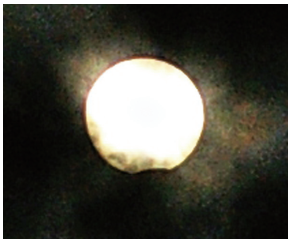
部員たちは去年の秋頃から特別教育館の天文台で観測した結果をグループごとに提出した。「ずっと熱望していた惑星の研究に取り組みました。惑星の普段見ることのできない一面を、貴重な専用機材を使用して観測でき、好奇心や探究心が揺さぶられました。これからもより高度な研究に取り組んでいきます」と、部員の堀米さんは感想と今後の抱負を語った。

発表題目は以下の通り。

『惑星とメタンと大気の研究』
堀米　琴音（Ｔ３年）
熊倉　有希（Ｔ３年）
山中　陸叶（Ｓ２年）
山根　史也（中学２年）

『ＨＲＯＦＦＴソフトを使用した流星電波観測』
戸部　聡太（Ｂ３年）
瀬端　脩人（Ｔ３年）
佐藤　瑞己（Ｎ２年）
川邉淳之介（Ｂ２年）

『月食のＲＧＢ分析』
臼井　瑞紀（Ｔ３年）
髙橋　知優（Ａ３年）
井原　翼（Ｓ２年）
德永　祐太（Ｎ１年）



天文部（堀米さん）撮影の日食（６月21日）

夏休みの注意
高等学校

〈生活について〉
・三密を避ける。特に人の集まる場所等への外出は避け感染防止に努める。
・自宅においても、マスク使用や手洗い等の感染症対策をしっかり行う。
・登下校時は制服でマスク着用。
・飲酒、喫煙、暴力行為、不正行為等は厳禁。
・高校生として望ましくない場所への出入りはしないこと。
・外出の際は帰宅時間に注意し、外泊は控える。

〈旅行について〉
・旅行届を事前に提出し、許可を必ず得る。
・父母同伴を原則とするが、そうでない場合は旅行届に保護者の同意書を添えて提出。

〈交通安全について〉
・交通マナー、規則を遵守し、事故に注意する。
・無免許運転、暴走行為は厳禁。
・交通事故などに遭遇した際は、すぐに担任または学校に連絡をすること。
・３年生の普通免許取得のための自動車教習所通いは、１月15日以降に許可する。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更の場合がある。

〈アルバイトについて〉
・アルバイトは原則禁止する。ただし家庭の都合で行う場合は、保護者の申し出により許可する場合もある。

わたしの恋人
道のしをり②

地歴公民科　河本稜太

私は皆さんとおなじ國學院栃木の生徒でした。１年生のときは課題・小テストに追われ大変な思いをしました。しかし、10問足らずだからといって手を抜かず、絶対自分のものにするという意気込みで取り組んでいたことを覚えています。

２年生のときに世界史に魅了されました。歴史と言ったら年代や王様の名前という無味乾燥な羅列を覚えるだけというイメージを持っている人が多いと思います。それではつまらない！歴史を学ぶ楽しさは教科書や資料集の行間にある戦争や革命の火花といった魅力あふれるエピソードを学ぶことにあるのです。私はこの楽しさに魅了されたのです。周りの友達が恋愛をしている中、「俺の彼女は世界史だ！」なんて言っていました。実際に世界史に関する仕事をしているわけですから、高校時代から続いている大恋愛ですよね。この頃から放課後に黒板を使って友達に世界史の授業をしていました。「世界史の楽しさを共有したい」という私が教師になるたった一つの理由が生まれたのです。また、ファッション誌をきっかけに東京での煌びやかな生活に憧れて都内に進学を決意したのもこの時期です。モチベーションは夢の実現だけでなくてもよい、肝心なのはやる気を維持し続けることです。

３年生は、勉強の毎日でした。特に心がけたことが他の人が勉強をしないような時にも勉強に取り組むということです。昼休みは食事を終えて誰よりも早く廊下に机を出して勉強をしたり、古文単語を読みながら教室移動をしたりしました。この一つひとつの課題を全力で取り組んできた努力とストイックさがあったからこそ、実際に受験に活き、志望校に合格することができたと思っています。

高校３年間は辛く涙を流したこともありましたが、充実した３年間でした。皆さんには、卒業式の日に「これを自分は全力で取り組めた」と胸を張って言えるような高校生活を送ってもらいたいと思っています。

使い込んだ教科書

教務日誌抄

〈７月〉
１日（水）美化の日
７日（火）１・２年ベネッセ総合学力テスト・３年ベネッセ記述模試
９日（木）１年歯科検診
13日（月）～16日（木）期末試験
20日（月）～22日（水）眼科検診
22日（水）全校朝礼（放送）小論文模試（３年）

〈８月〉
１日（土）・２日（日）カム・オン・イン國學院②③
４日（火）～７日（金）三者面談
６日（木）１年耳鼻科検診
７日（金）終業式

【訃報】國安トミイ様（國安裕司講師ご母堂）６月29日（月）ご逝去。謹んで哀悼の意を表します。